

令和3年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	宮城県		市町村類型	I-O	指定団体等の指定状況		区分		令和3年度(千円)		令和2年度(千円)		区分		令和3年度(千円・%)		令和2年度(千円・%)																																																																																																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	19,083,368	22,351,738	実質収支比率	6.3	5.6																																																																																																																																																																																
市町村名	角田市		地方交付税種地	2-3	財源超過	×	歳出総額	18,354,444	21,723,585	経常収支比率	90.7	98.8																																																																																																																																																																																
					首都	×	歳入歳出差引	728,924	628,153	(※1)	(96.0)	(103.4)																																																																																																																																																																																
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	200,149	179,828	標準財政規模	8,435,076	8,033,150																																																																																																																																																																																
					中部	×	実質収支	528,775	448,325	財政力指数	0.50	0.52																																																																																																																																																																																
人口	令和2年国調(人)	27,976	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	80,450	35,484	公債費負担比率	9.3	9.1																																																																																																																																																																																
	平成27年国調(人)	30,180			山振	×	積立金	31	53	健全化判断比率																																																																																																																																																																																		
	増減率(%)	-7.3			低開発	○	繰上償還金	27,397	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																
住民基本台帳人口(※7)	令04.01.01(人)	27,770	第1次	令和2年国調	985	1,099	指数表選定	○	積立金取崩し額	0	120,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																														
	うち日本人(人)	27,540		7.6	7.8			実質単年度収支	107,878	-84,463	実質公債費比率	9.7	9.2																																																																																																																																																																															
	令03.01.01(人)	28,212	第2次	4,878	5,528			基準財政収入額	3,335,226	3,496,585	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)	27,975		37.7	39.2			基準財政需要額	7,124,681	6,805,812																																																																																																																																																																																		
	増減率(%)	-1.6	第3次	7,089	7,458			標準税収入額等	4,161,627	4,378,845																																																																																																																																																																																		
	うち日本人(%)	-1.6		54.7	52.9			経常経費充当一般財源等	7,771,209	7,768,086																																																																																																																																																																																		
面積(km ²)	147.53						歳入一般財源等	13,299,126	12,674,383																																																																																																																																																																																			
人口密度(人/km ²)	190																																																																																																																																																																																											
世帯数(世帯)	10,276																																																																																																																																																																																											
職員の状況																																																																																																																																																																																												
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	16,370,210	16,275,080																																																																																																																																																																																	
	市区町村長	1	7,408		一般職員	242	697,928	2,884	うち公的資金	11,808,316	11,677,920																																																																																																																																																																																	
	副市区町村長	1	6,222		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	10,814,755	10,737,768																																																																																																																																																																																	
	教育長	1	5,420		うち技能労務職員	7	21,070	3,010	債務負担行為額(支出予定額)	2,095,398	1,379,336																																																																																																																																																																																	
	議会議長	1	4,480		教育公務員	2	*	*	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																																	
	議会副議長	1	3,770		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	450,000	450,000																																																																																																																																																																																	
	議会議員	14	3,530		合計	244	701,810	2,876	財政調整基金	1,717,579	1,489,223																																																																																																																																																																																	
						ラスパイレシ指数			96.7	積立金現在高	1,863,424	1,413,394																																																																																																																																																																																
										減債基金	2,644,223	1,358,110																																																																																																																																																																																
										その他特定目的基金																																																																																																																																																																																		
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td colspan="4">事業会計の一覧</td> <td colspan="4">公営企業(法適)の一覧</td> <td colspan="4">公営企業(法非適)の一覧</td> <td colspan="2">関係する一部事務組合等一覧</td> <td colspan="3">地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>角田市国民健康保険事業特別会計</td> <td>(5)</td> <td>角田市水道事業会計</td> <td>(7)</td> <td>仙南地域広域行政事務組合</td> <td>(14)</td> <td>角田市地域振興公社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>角田市介護保険特別会計</td> <td>(6)</td> <td>角田市下水道事業会計</td> <td>(8)</td> <td>みやぎ県南中核病院企業団</td> <td>(15)</td> <td>角田市農業振興公社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4)</td> <td>角田市後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合</td> <td>(16)</td> <td>まちづくり角田</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>宮城県市町村職員退職手当組合</td> <td>(17)</td> <td>阿武隈急行株式会社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>宮城県市町村自治振興センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>宮城県後期高齢者医療広域連合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>宮城県後期高齢者医療事業会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																			一般会計等の一覧	事業会計の一覧				公営企業(法適)の一覧				公営企業(法非適)の一覧				関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧			項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	組合等名	項番	団体名	項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(2)	角田市国民健康保険事業特別会計	(5)	角田市水道事業会計	(7)	仙南地域広域行政事務組合	(14)	角田市地域振興公社												(3)	角田市介護保険特別会計	(6)	角田市下水道事業会計	(8)	みやぎ県南中核病院企業団	(15)	角田市農業振興公社												(4)	角田市後期高齢者医療特別会計			(9)	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合	(16)	まちづくり角田																(10)	宮城県市町村職員退職手当組合	(17)	阿武隈急行株式会社																(11)	宮城県市町村自治振興センター																		(12)	宮城県後期高齢者医療広域連合																		(13)	宮城県後期高齢者医療事業会計											
一般会計等の一覧	事業会計の一覧				公営企業(法適)の一覧				公営企業(法非適)の一覧				関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																													
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	組合等名	項番	団体名	項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																																										
(1)	一般会計	(2)	角田市国民健康保険事業特別会計	(5)	角田市水道事業会計	(7)	仙南地域広域行政事務組合	(14)	角田市地域振興公社																																																																																																																																																																																			
		(3)	角田市介護保険特別会計	(6)	角田市下水道事業会計	(8)	みやぎ県南中核病院企業団	(15)	角田市農業振興公社																																																																																																																																																																																			
		(4)	角田市後期高齢者医療特別会計			(9)	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合	(16)	まちづくり角田																																																																																																																																																																																			
						(10)	宮城県市町村職員退職手当組合	(17)	阿武隈急行株式会社																																																																																																																																																																																			
						(11)	宮城県市町村自治振興センター																																																																																																																																																																																					
						(12)	宮城県後期高齢者医療広域連合																																																																																																																																																																																					
						(13)	宮城県後期高齢者医療事業会計																																																																																																																																																																																					

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、令和3年地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	3,344,391	17.5	3,173,978	普通税	3,173,978	94.9	-
地方譲与税	197,070	1.0	197,070	法定普通税	3,173,978	94.9	-
利子割交付金	1,218	0.0	1,218	市町村民税	1,353,471	40.5	-
配当割交付金	10,952	0.1	10,952	個人均等割	47,092	1.4	-
株式等譲渡所得割交付金	12,505	0.1	12,505	所得割	1,045,877	31.3	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	法人均等割	71,180	2.1	-
地方消費税交付金	719,144	3.8	719,144	法人税割	189,322	5.7	-
ゴルフ場利用税交付金	3,675	0.0	3,675	固定資産税	1,474,941	44.1	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	うち純固定資産税	1,473,926	44.1	-
自動車取得税交付金	-	-	-	軽自動車税	116,913	3.5	-
軽油引取税交付金	-	-	-	市町村たばこ税	228,653	6.8	-
自動車税環境性能割交付金	18,339	0.1	18,339	鉱産税	-	-	-
法人事業税交付金	52,358	0.3	52,358	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金等	52,341	0.3	49,636	法定外普通税	-	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	19,804	0.1	19,804	目的税	170,413	5.1	-
自動車税減収補填特例交付金	5,135	0.0	5,135	法定目的税	170,413	5.1	-
軽自動車税減収補填特例交付金	1,603	0.0	1,603	入湯税	-	-	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	25,799	0.1	23,094	事業所税	-	-	-
地方交付税	4,600,963	24.1	3,795,656	都市計画税	170,413	5.1	-
普通交付税	3,795,656	19.9	3,795,656	水利地益税等	-	-	-
特別交付税	612,195	3.2	-	法定外目的税	-	-	-
震災復興特別交付税	193,112	1.0	-	旧法による税	-	-	-
(一般財源計)	9,012,956	47.2	8,034,531	合計	3,344,391	100.0	-
交通安全対策特別交付金	3,430	0.0	3,430				
分担金・負担金	35,875	0.2	-				
使用料	100,564	0.5	10,271				
手数料	16,489	0.1	-				
国庫支出金	2,889,213	15.1	-				
国有提供交付金(特別区財調交付金)	12,951	0.1	12,951				
都道府県支出金	1,783,135	9.3	-				
財産収入	55,702	0.3	16,625				
寄附金	2,944,082	15.4	-				
繰入金	154,989	0.8	-				
繰越金	399,828	2.1	-				
諸収入	377,761	2.0	15,841				
地方債	1,296,393	6.8	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-				
うち猶予特例債	-	-	-				
うち臨時財政対策債	477,793	2.5	-				
歳入合計	19,083,368	100.0	8,093,649				

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	150,037	0.8	-	150,037	-
総務費	4,559,570	24.8	153,850	4,261,263	-
民生費	4,714,745	25.7	5,632	2,436,230	-
衛生費	1,344,364	7.3	12,162	1,016,464	-
労働費	15,242	0.1	-	15,242	-
農林水産業費	1,352,484	7.4	653,950	598,074	-
商工費	676,353	3.7	1,100	218,421	-
土木費	1,627,787	8.9	591,110	1,012,260	-
消防費	410,929	2.2	2,345	406,607	-
教育費	1,574,181	8.6	204,411	1,175,712	-
災害復旧費	678,854	3.7	-	37,346	-
公債費	1,249,898	6.8	-	1,242,546	-
諸支出金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	18,354,444	100.0	1,624,560	12,570,202	-

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	6,351,054	34.6	4,124,457	3,925,199	45.8
人件費	2,399,261	13.1	2,238,629	2,095,919	24.5
うち職員給	1,390,465	7.6	1,303,644	-	-
扶助費	2,701,895	14.7	643,282	614,131	7.2
公債費	1,249,898	6.8	1,242,546	1,215,149	14.2
元利償還金	1,249,895	6.8	1,242,543	1,215,146	14.2
うち元金	1,201,263	6.5	1,193,993	1,166,596	13.6
うち利子	48,632	0.3	48,550	48,550	0.6
一時借入金利子	-	0.0	3	3	0.0
その他の経費	9,699,976	52.8	8,171,878	3,846,010	44.9
物件費	2,586,017	14.1	1,990,101	1,232,633	14.4
維持補修費	213,641	1.2	163,494	163,439	1.9
補助費等	3,506,226	19.1	3,029,288	1,437,598	16.8
うち一部事務組合負担金	576,497	3.1	576,497	517,536	6.0
繰出金	1,173,925	6.4	970,046	920,521	10.7
積立金	1,891,163	10.3	1,869,995	-	-
投資・出資金・貸付金	329,004	1.8	148,954	91,819	1.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,303,414	12.5	273,867	-	-
うち人件費	72,881	0.4	72,881	-	-
普通建設事業費	1,624,560	8.9	236,521	-	-
うち補助	847,703	4.6	27,183	-	-
うち単独	670,546	3.7	195,927	-	-
災害復旧事業費	678,854	3.7	37,346	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	18,354,444	100.0	12,570,202	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和3年度 宮城県角田市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	19,100	18,371	729	529	155	16,359	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	27,770	人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	27,540	人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	147.53	km ²	実質公債費比率	9.7	%
歳入総額	19,083,368	千円	将来負担比率	37.3	%
歳出総額	18,354,444	千円			
実質収支	528,775	千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2	
標準財政規模	8,435,076	千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-0	
地方債現在高	16,370,210	千円			

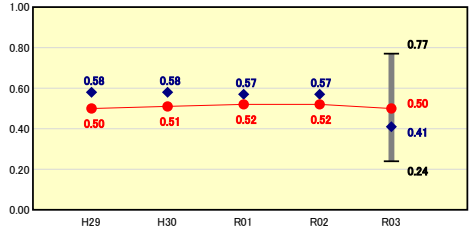


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の翌年の地方公務員給与実態調査に基づいているが、令和3年度は令和3年調査の数値を引用している。

財政力

財政力指数 [0.50]

類似団体内順位 6/25 全国平均 0.50 宮城県平均 0.54

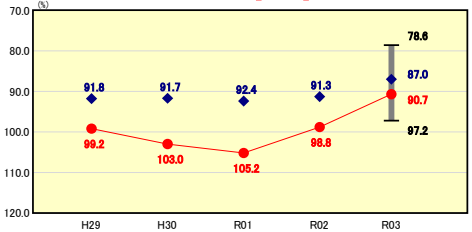


財政力指数の分析欄
 市町村類型が変更となった(R2:I-2 → R3:I-0)ことにより、類似団体平均と比較して数値が上回った。
 令和3年度における市税について、新型コロナウイルス感染症の影響による個人市民税や固定資産税の減等により前年に続き減となった。また、市税と併せて地方消費税交付金などが減少となったことにより、基準財政収入額は前年度より減となった。
 令和3年度の財政力指数については前年度と比較して単年度は0.04ポイント下降、3か年の平均値は0.02ポイント下降した。
 今後も課税客体の適切な把握や徴収強化等の取組を進めるとともに、一層の歳出削減を図ること、財政基盤の強化に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [90.7%]

類似団体内順位 21/25 全国平均 88.9 宮城県平均 93.9

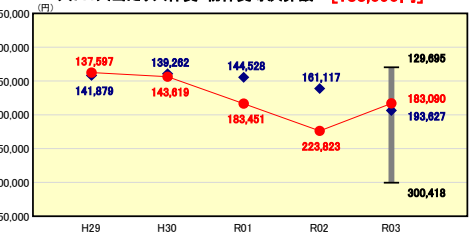


経常収支比率の分析欄
 令和元年度までは比率の上昇が続いていたが、令和2年度に下水道事業が公営企業法適用となったことで経常的経費が大幅に下がり、比率の下降につながった。
 令和3年度においては、前年度比で8.1ポイントの減となった。主な要因としては分母である歳入について、普通交付税が4億9,194万円の増、臨時財政対策債が1億2,721万円の増と昨年より経常一般財源が約9%増加したことによる影響が大きい。また、分子である歳出については、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、経常的に実施していた各種事業が中止となったことなどが影響している。今後も財政健全化等の取組を通じて、より一層の経常経費の抑制に努める。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [183,090円]

類似団体内順位 9/25 全国平均 155,089 宮城県平均 186,811

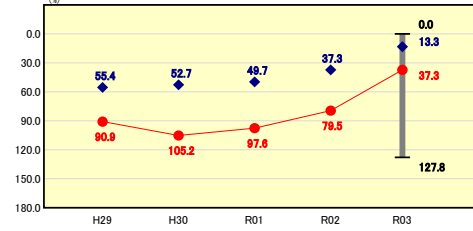


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 市町村類型が変更となったこともあり、類似団体と比較してやや低い水準となった。
 令和元年度東日本台風による災害廃棄物処理事業や小・中学校へのICTタブレット整備事業の完了により、物件費が前年より12億4,511万円減となったこと前年と比べ約4万円の減となった。
 しかしながら、ふるさと納税事業に係る事務費の増等により平成30年度以前に比べると依然高い水準となっているため、今後も既存事業の見直しを図りながら、物件費等の削減に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [37.3%]

類似団体内順位 15/25 全国平均 15.4 宮城県平均 23.3

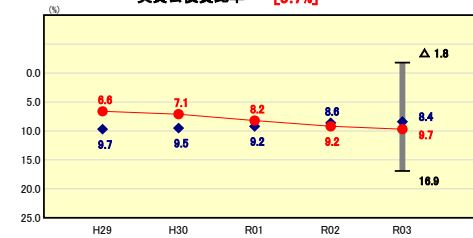


将来負担比率の分析欄
 過去の投資的事業に係る市債借入により令和2年度までは高い水準となっていたが、令和3年度は公営企業債等繰入見込額の減などにより将来負担率が約12億円減少し、将来の市債償還に備えた減債基金の積み増しや公共施設の老朽化対策等のため公共施設強化対策基金の積み増しを行ったことなどにより充当可能額が約15億円増加したことで、対前年度比で42.2ポイントの減となったが、市町村類型が変更となったことで類似団体と比較すると依然高い水準となっている。
 令和4年度以降も、公共施設の長寿命化・脱炭素化に係る改修や防災・減災構想に係る工事の実施等により多額の市債発行を予定しており、再度比率が上昇することが見込まれるため、更なる事業実施の適正化を図り、財政の健全化に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [9.7%]

類似団体内順位 19/25 全国平均 5.5 宮城県平均 6.5

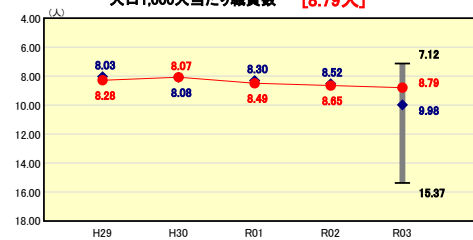


実質公債費比率の分析欄
 令和2年度に続き、類似団体平均と比較して高い水準となった。
 令和3年度においては、平成30年度に借り入れた小・中学校空調設備設置事業の元金償還が始まったことにより、0.5ポイント上昇した。令和4年度以降も賑わいの交流拠点施設整備事業や小・中学校空調設備設置事業(令和元年度借入分)、令和元年度東日本台風災害復旧事業にかかる市債の償還開始により更なる比率の上昇が見込まれることから、財政健全化を図るための計画的かつ効果的な財政運営に努める。

定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [8.79人]

類似団体内順位 8/25 全国平均 8.21 宮城県平均 10.14

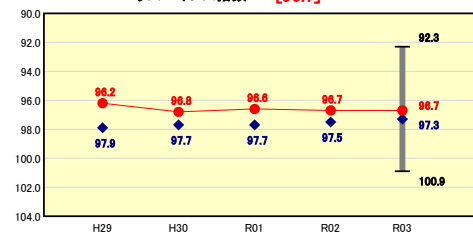


人口1,000人当たり職員数の分析欄
 これまで類似団体平均と同程度の水準で推移していたが、令和3年度は市町村類型が変更となったことで、類似団体と比較して低い水準となった。
 令和3年度においては、前年度と比較して0.14人と僅かに増加しているものの、人口の減少は今後も続くことが見込まれるため、引き続き窓口業務等の民間委託など既存存続事業の見直しを行い、職員数の適正化を図る。

給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [96.7]

類似団体内順位 8/25 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3



ラスパイレス指数の分析欄
 類似団体平均と比較して低い水準で推移している。
 震災後2年間の国家公務員の時限的な給与削減が終了し、平成25年度以降の当市のラスパイレス指数は再び100を割り込んでいる。
 令和3年度から同年4月1日現在の数値を使う取扱いとなったため、前年と同一の数値となる。
 今後も、角田市職員人材育成基本方針に基づき、人事評価の適切な実施・活用を目指した人事管理を推進し、より一層の給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

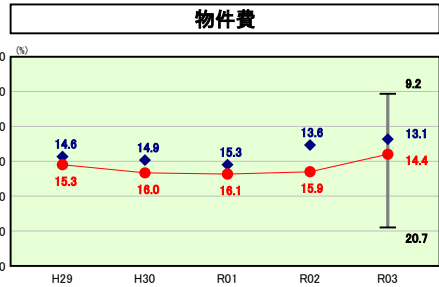
宮城県角田市

経常収支比率の分析

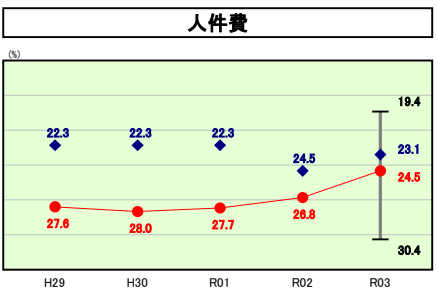
人口	27,770	人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	27,540	人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	147.53	km ²	実質公債費比率	9.7	%
歳入総額	19,083,368	千円	将来負担比率	37.3	%
歳出総額	18,354,444	千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2	
実質収支	528,775	千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-0	
標準財政規模	8,435,076	千円			
地方債現在高	16,370,210	千円			



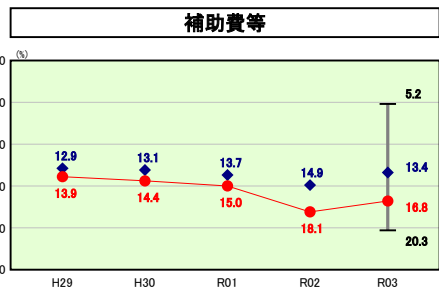
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



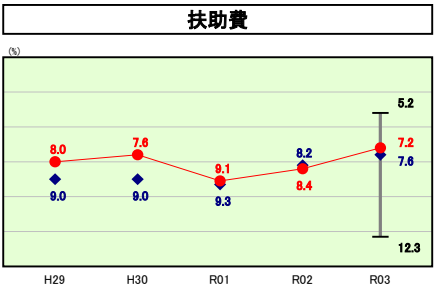
物件費の分析
 類似団体平均と比較して平成29年度以降は高い水準となっている。特に平成28年度以降は新築した学校給食センターの管理運営費が増加している。令和3年度は、個別予防接種委託料やシステム関連経費等の減により物件費の歳出減となっており、また普通交付税など歳入(経常一般財源)の増加により1.5ポイント低下した。例年に比べると大きく数値は低下したが、依然として類似団体平均より高い水準であるため、より一層のコスト削減に努める。



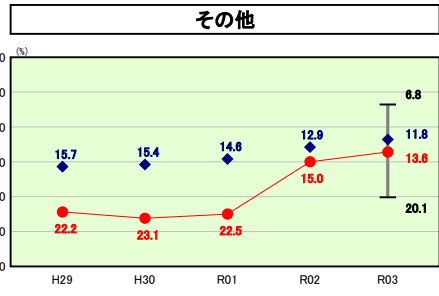
人件費の分析
 類似団体平均と比較して給与水準は低い(3参照)が、人件費における経常経費は平均を超える水準で推移している。これは、人件費において類似団体と比較して会計年度職員数が多いことが要因となっている。令和3年度は、職員人件費(退職手当)の減や普通交付税など歳入(経常一般財源)の増加により2.3ポイントと大きく低下した。今後も市税の徴収強化等により経常一般財源の確保に努めるとともに、事務事業の見直し等により、会計年度任用職員数の抑制を図る。



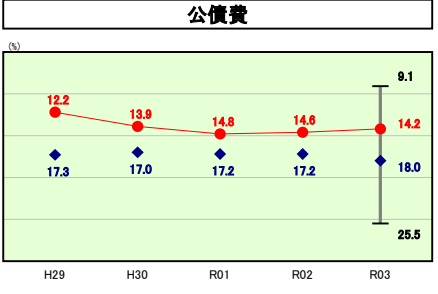
補助費等の分析
 類似団体平均と比較して、令和2年度から高い水準で推移している。令和2年度に下水道事業が公営企業法適用となったことで、下水道事業への繰出を負担金として支出となったことが要因であるが、令和3年度は普通交付税など歳入(経常一般財源)の増加により前年に比べて1.3ポイント低下した。依然として類似団体平均より高い水準であるため、各種補助金の見直し、特に繰越金の多い団体への運営費補助については5%以上の削減を行うなど、経費の適正化に努める。



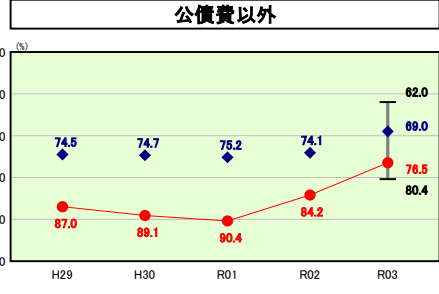
扶助費の分析
 令和元年度と令和2年度は類似団体平均と同程度で推移してきた。令和3年度は障害福祉サービス費等の減や普通交付税など歳入(経常一般財源)の増加により前年度と比較して1.2ポイント低下し、市町村類型が変更となったこともあり類似団体平均より低い水準となった。経済状況や高齢化等による今後の扶助費の増加に備え、その動向を注視していくとともに、今後も経常一般財源の確保に努める。



その他の分析
 令和元年度までは他会計への繰出金が多額のため類似団体平均と比較して高い水準で推移していたが、下水道事業が公営企業法適用となった令和2年度からは平均値に近い水準で推移している。令和3年度は特別会計に対する繰出金は減となったが、施設管理に要する維持補修費等の経費が増えたため、前年と比較して歳出は変わらない。普通交付税など歳入(経常一般財源)の増加により前年度比で1.4ポイント低下したものの、依然として類似団体平均より高い水準であるため、事業見直しや経費削減等に努める。



公債費の分析
 類似団体平均と比較して低い水準で推移している。令和3年度は、臨時財政対策債や平成30年度に借り入れた小・中学校空調設備設置事業充当債等の元金償還開始により公債費は増となるも、普通交付税など歳入(経常一般財源)の増加により0.4ポイント低下した。今後も、賑わいの交流拠点施設整備事業や小・中学校空調設備設置事業(令和元年度借入分)、令和元年東日本台風災害復旧事業にかかる市債の本格的な償還開始が予定されており、更なる比率上昇の要因が続くことから、引き続き適正な公債費の管理に努める。



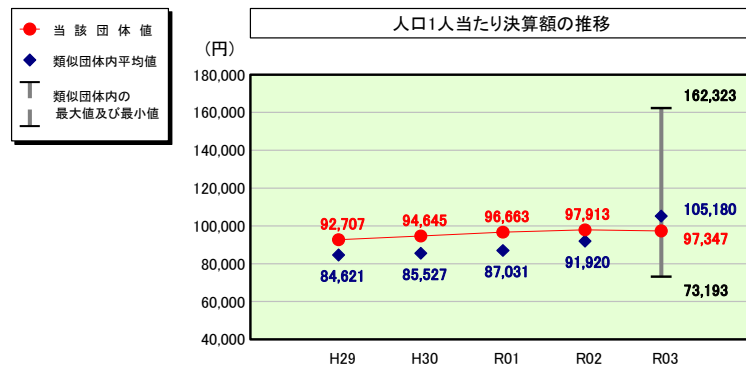
公債費以外の分析
 類似団体平均と比較して高い水準で推移している。これは、上記「人件費」及び「補助費等」の比率が高いことが要因である。令和3年度においては、物件費及び扶助費が減少したこと及び普通交付税など歳入(経常一般財源)の増加に比べて7.7ポイント低下した。今後の財政運営の硬直化を防ぐため財政改革を推進し、経常収支比率上昇の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

宮城県角田市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

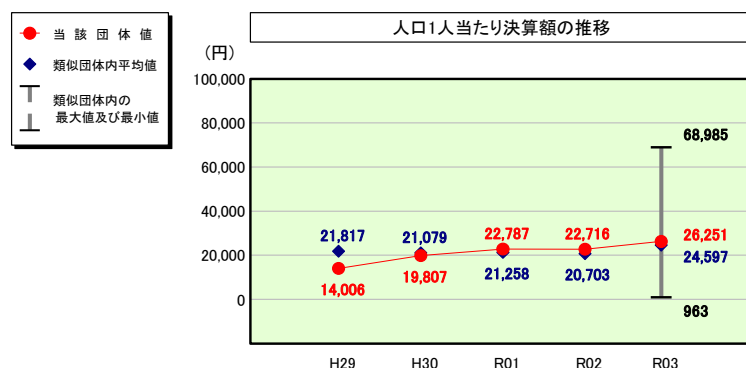
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2,399,261	86,398	95,193	▲ 9.2
一部事務組合負担金(補助費等)	324,191	11,674	9,197	26.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,724	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	4	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	94,378	3,399	3,651	▲ 6.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	72,881	2,624	2,581	1.7
▲退職金	▲ 187,395	▲ 6,748	▲ 7,170	▲ 5.9
合計	2,703,316	97,347	105,180	▲ 7.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.79	9.98	▲ 1.19
ラスパイレス指数	96.7	97.3	▲ 0.6

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

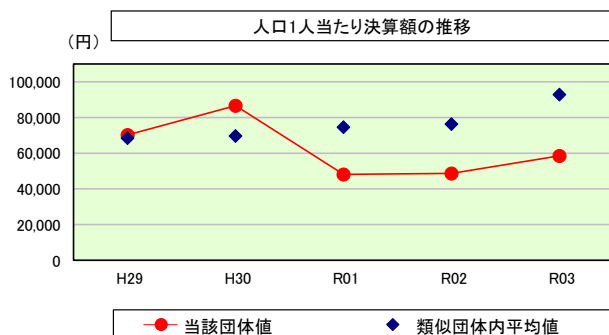


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,249,853	45,007	67,244	▲ 33.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	8	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	622,666	22,422	18,547	20.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	166,252	5,987	2,991	100.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2,232	80	670	▲ 88.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 154,873	▲ 5,577	▲ 3,165	76.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,157,151	▲ 41,669	▲ 61,701	▲ 32.5
合計	728,979	26,251	24,597	6.7

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H29	2,087,027	70,240	▲ 4.1	68,468	3.9	▲ 8.0
うち単独分	725,876	24,430	▲ 40.4	34,140	▲ 6.4	▲ 34.0
H30	2,533,573	86,639	23.3	69,729	1.8	21.5
うち単独分	933,705	31,929	30.7	38,908	14.0	16.7
R01	1,382,840	48,136	▲ 44.4	74,581	7.0	▲ 51.4
うち単独分	549,900	19,142	▲ 40.0	41,563	6.8	▲ 46.8
R02	1,374,408	49,717	1.2	76,347	2.4	▲ 1.2
うち単独分	457,447	16,215	▲ 15.3	41,762	0.5	▲ 15.8
R03	1,624,560	58,501	20.1	92,919	21.7	▲ 1.6
うち単独分	670,546	24,146	48.9	54,128	29.6	19.3
過去5年間平均	1,800,482	62,447	▲ 0.8	76,409	7.4	▲ 8.2
うち単独分	667,495	23,172	▲ 3.2	42,100	8.9	▲ 12.1

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

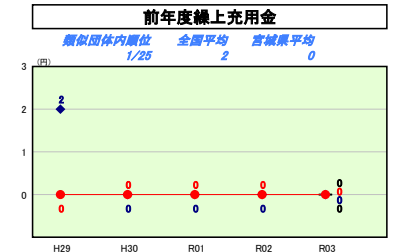
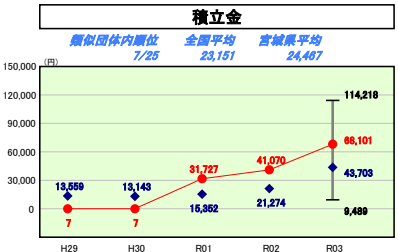
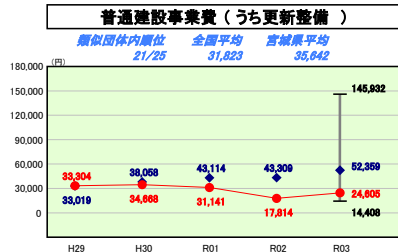
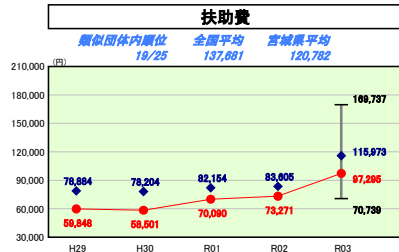
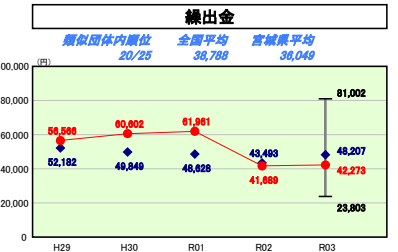
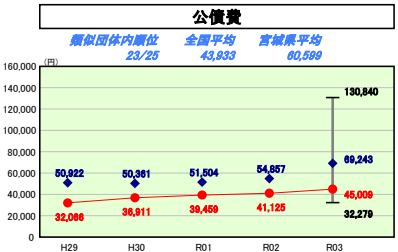
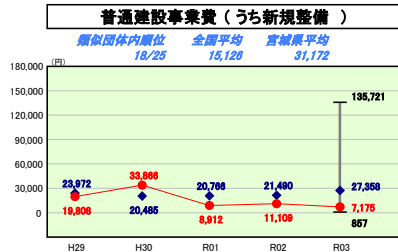
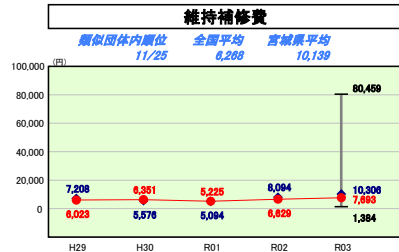
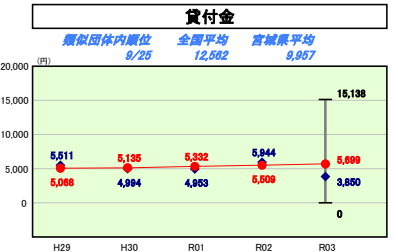
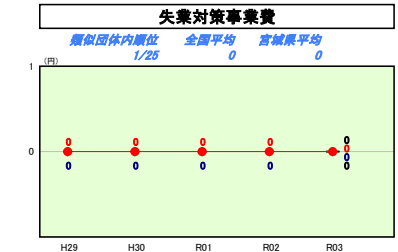
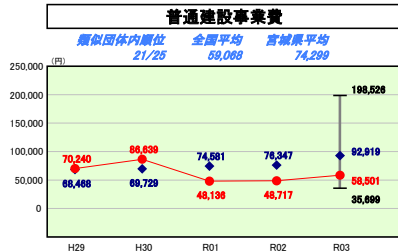
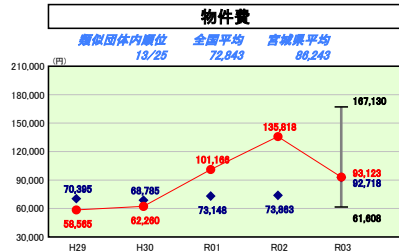
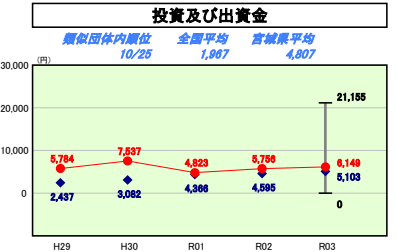
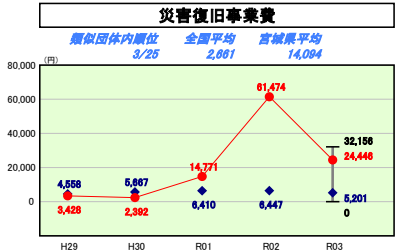
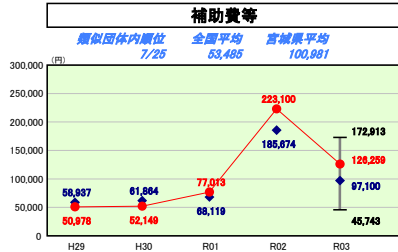
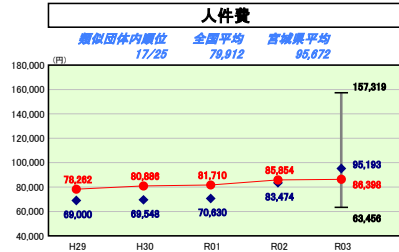
令和3年度

宮城県角田市

人口	27,770人(※4.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	27,640人(※4.1.1現在)	連結実収赤字比率	-%
面積	147.53km ²	実収公債費比率	9.7%
歳入総額	19,083,368千円	将来負担比率	37.3%
歳出総額	18,354,444千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2
実収収支	528,775千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-0
標準財政規模	8,435,076千円		
地方債現在高	16,370,210千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

補助費等、災害復旧事業費、積立金等が類似団体平均と比較して住民一人当たりのコストが高くなっている。
 物件費については、令和元年度と令和2年度は令和元年度日本台風による災害廃棄物処理事業経費が増加したことで数値が上昇していたが、事業完了により令和3年度は事業費が大幅に減額となり、類似団体平均と同程度の水準となった。補助費等については、令和2年度に下水道事業が公営企業法適用となったことで、下水道事業への繰出金を負担金及び補助金から支出することから大幅に上昇する要因となった。令和3年度は特別定額給付金の皆減により大幅な歳出減となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等の新型コロナウイルス対策関連経費の継続的な支出や令和4年度米生産振興特別助成事業費補助金等の支出があり、類似団体平均を大きく上回る水準となった。災害復旧事業費については、令和3年度に繰り越した令和元年度日本台風にかかる災害復旧事業費や令和3年2月及び令和4年3月に発生した福島県沖地震にかかる災害復旧事業費の支出が類似団体平均を上回る要因となった。積立金については、今後償還開始となる令和元年度日本台風にかかる災害復旧事業費に備えた減価基金の積み増しや公共施設の老朽化対策等のため公共施設強化対策基金に積み増したことが増額要因である。また、公債費については、臨時財政対策債や小・中学校空調設備設置事業充当債の元金償還が開始したこと等により上昇しているが、類似団体平均も上昇したことから昨年より乖離は大きくない。今後も順々の交流拠点施設整備事業や小・中学校空調設備設置事業(令和元年度借入分)、令和元年度日本台風災害復旧事業にかかる市債の償還開始により、さらに数値が上昇していくことが見込まれる。
 以上のコスト高に対応するため、引き続き市税等の確保に努めるとともに、令和3年3月策定の「角田市第5次行財政集中改革プラン」(令和3年度～令和8年度)に掲げた定員の適正化及び財政健全化等の取組を通じて、計画的かつ効率的な財政運営に努める。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

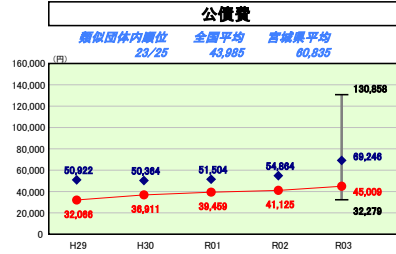
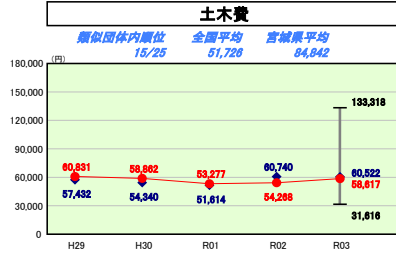
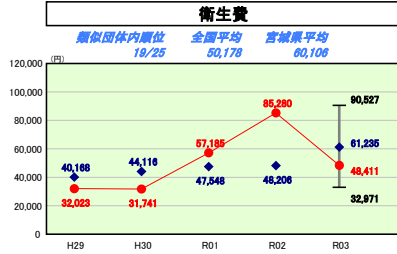
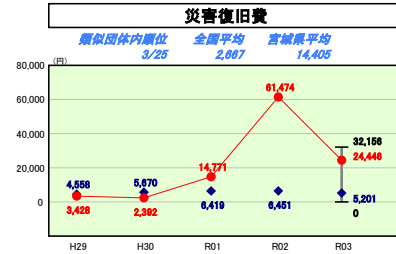
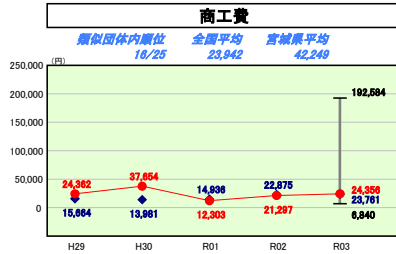
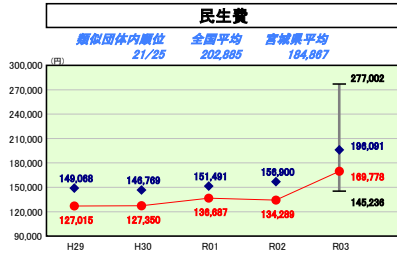
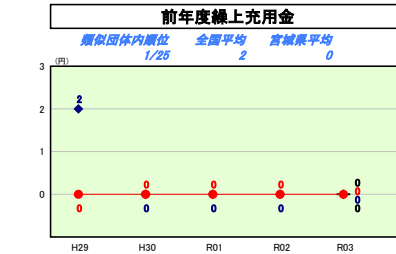
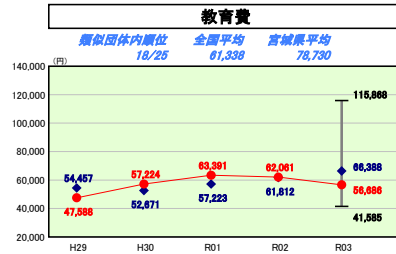
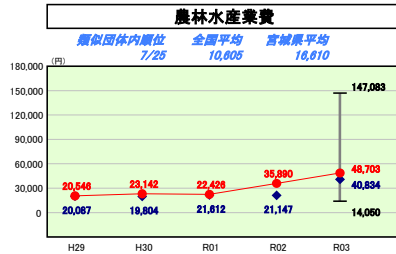
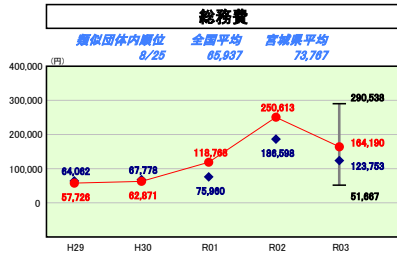
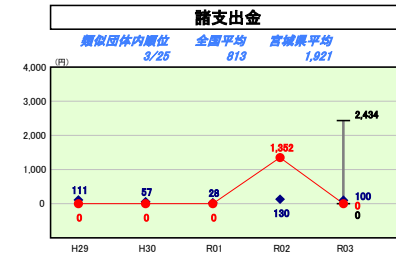
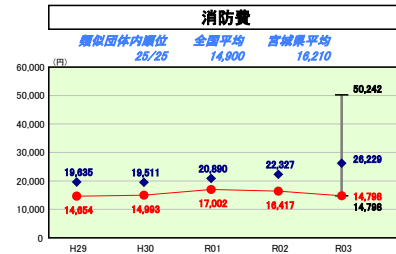
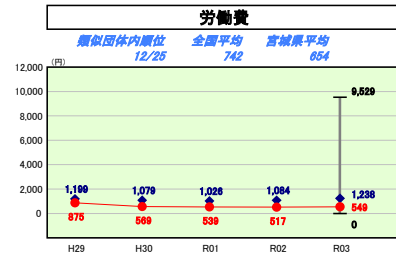
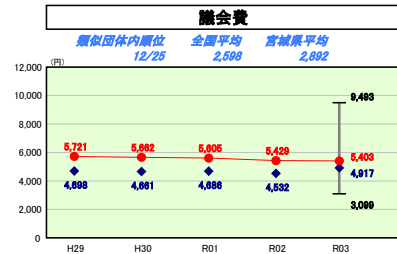
令和3年度

宮城県角田市

人口	27,770人(※4.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	27,640人(※4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	147.53km ²	実質公債費比率	9.7%
歳入総額	19,083,368千円	将来負担比率	37.3%
歳出総額	18,354,444千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2
実質収支	528,775千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-0
標準財政規模	8,435,076千円		
地方債現在高	16,370,210千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



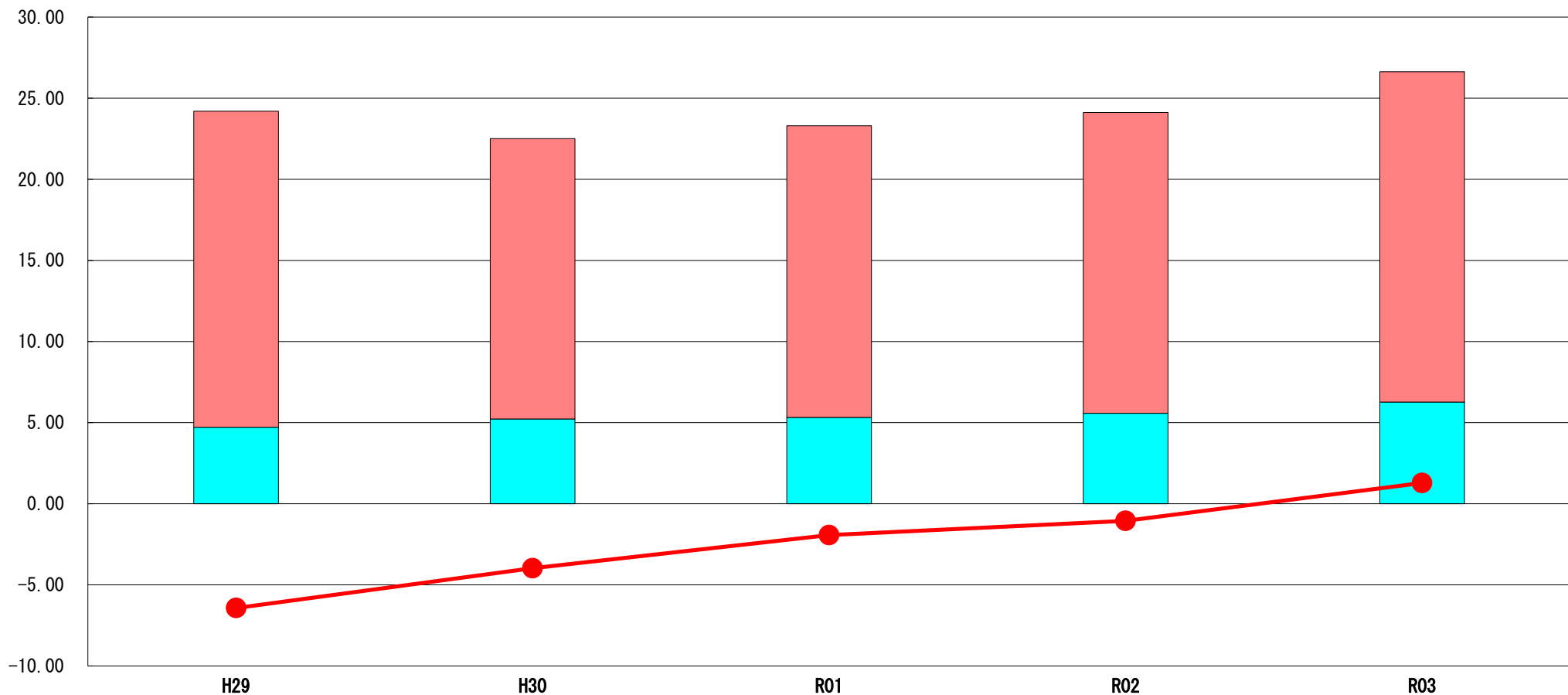
目的別歳出の分析
 総務費、農林水産業費及び災害復旧費等が、類似団体平均と比較して住民一人当たりのコストが高くなっている。
 総務費については、公共施設強靱化対策基金や減債基金の積み増し、ふるさと納税寄附金の増加に伴う事務費の増により類似団体平均を上回っている。農林水産業費については、強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金(カントリーエレベーター)や農作物災害対策事業(令和4年度産米生産興特別助成事業費補助金)等の増により類似団体平均を上回った。
 災害復旧費については、令和元年度東日本台風にかかる災害復旧事業や令和2年2月及び令和3年3月に発生した福島県沖地震にかかる災害復旧事業を行ったことにより類似団体平均を上回った。
 また、現時点では類似団体平均を下回っている公債費についても、臨時財政対策債や小・中学校空調設備設置事業充当債の元金償還が地味なことで前年度と比較して上昇しており、今後も賑わいの交流拠点施設整備事業や小・中学校空調設備設置事業(令和元年度借入分)、令和元年度東日本台風災害復旧事業にかかる市債の償還開始により更なる上昇が見込まれる。
 以上のコスト高に対応するため、引き続き市税等の確保に努めるとともに、令和3年度策定の「角田市第5次行政集中改革プラン」(令和3年度～令和8年度)に掲げた定員適正化及び財政健全化等の取組を通じて、計画的かつ効率的な財政運営に努める。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




令和3年度

宮城県角田市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H29	H30	R01	R02	R03
 財政調整基金残高		19.48	17.29	17.98	18.54	20.36
 実質収支額		4.72	5.22	5.32	5.58	6.27
 実質単年度収支		▲ 6.43	▲ 3.97	▲ 1.93	▲ 1.05	▲ 1.28

分析欄

令和3年度については、財政調整基金からの取り崩しは行わず、令和2年度決算剰余金2億2,833万円を積み立てたことにより、財政調整基金残高は1.82ポイント上昇した。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は前年より1億77万円の増となり、翌年度に繰越すべき財源が前年より2,032万円の増に留まったことから、差額である実質収支額は0.69ポイント上昇した。

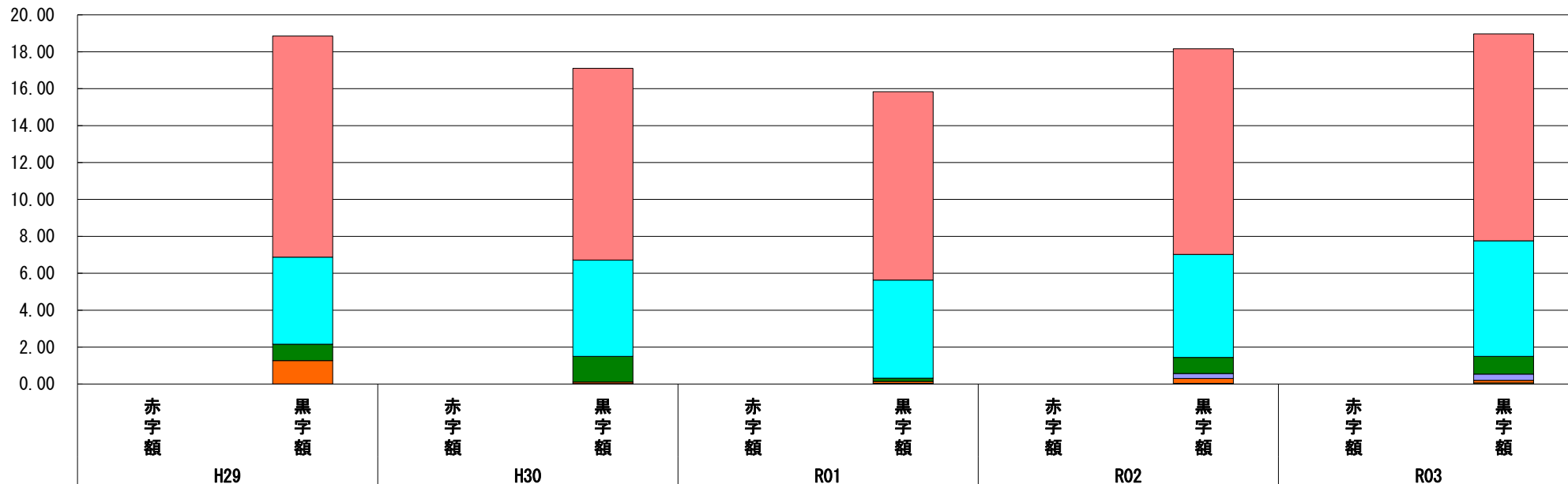
今後も賑わいの交流拠点施設整備事業や小・中学校空調設備設置事業(令和元年度借入分)、令和元年東日本台風災害復旧事業にかかる市債の償還開始により、基金取り崩し額の増加が見込まれることから、引き続き経費の削減と事業の適正化を図

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和3年度

宮城県角田市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H29	H30	R01	R02	R03
角田市水道事業会計		11.98	10.38	10.21	11.14	11.21
一般会計		4.71	5.22	5.31	5.58	6.26
角田市介護保険特別会計		0.89	1.39	0.18	0.87	0.96
角田市下水道事業会計		-	-	-	0.27	0.34
角田市国民健康保険事業特別会計		1.27	0.09	0.10	0.26	0.14
角田市後期高齢者医療特別会計		0.00	0.02	0.03	0.04	0.06
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.01	-	-

分析欄

一般会計においては形式収支が前年度比で1億77万円の増となり、翌年度に繰越すべき財源が前年度比で2,032万円の増となったことから、差額である実質収支額は前年度比で8,045万円の増となった。その結果、標準財政規模比で0.68ポイント上昇し6.26ポイントとなっている。

その他の会計の連結実質赤字比率についても、全会計で黒字であり、赤字比率の算定には至っていない。

今後も計画的な事業運営を図り、健全な財政運営に努める。

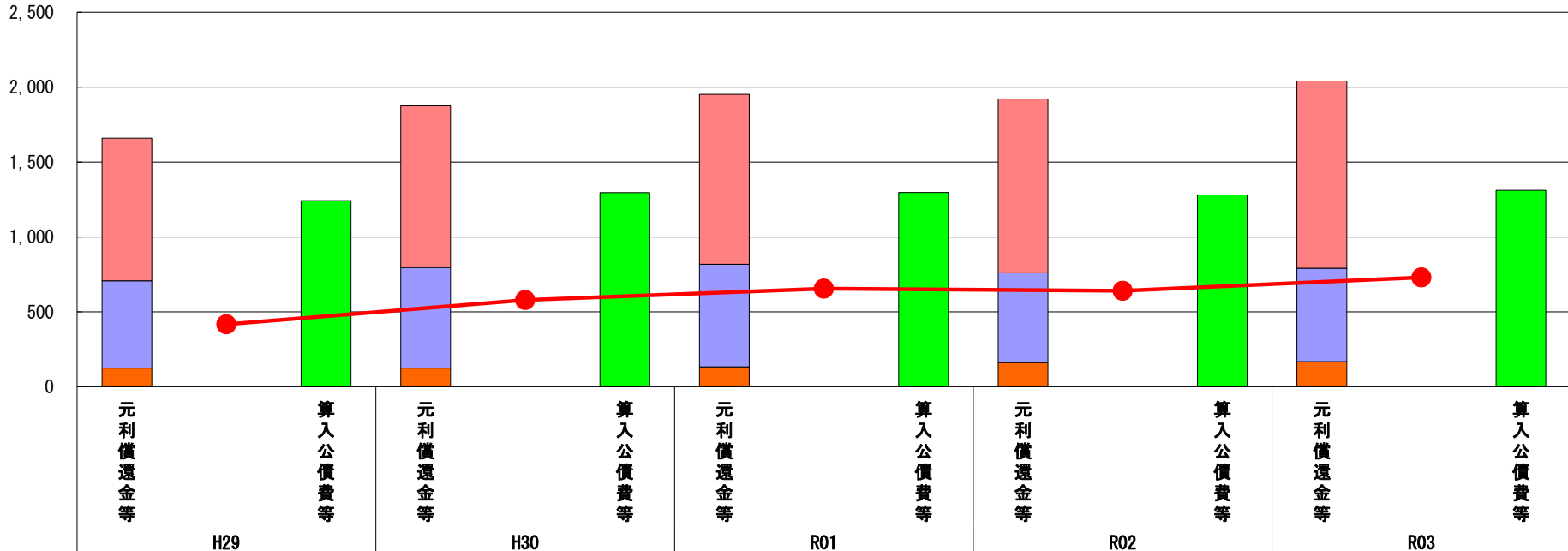
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

宮城県角田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
元利償還金等 (A)	元利償還金		953	1,079	1,134	1,160	1,250
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		582	671	685	599	623
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		125	125	132	161	166
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	1	1	2
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,243	1,296	1,297	1,280	1,311
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		417	579	655	641	730

分析欄

元利償還金等(A)においては、平成30年度に借り入れた小・中学校空調設備設置事業充当債等の元金償還開始により元利償還金が増加し、公営企業債の元利償還金に対する繰入金も増額となったことで120百万円の増となった。

算入公債費等(B)においては31百万円の増となったことで、実質公債費比率の分子(A)-(B)は前年度と比較して89百万円の増となった。

今後、賑わいの交流拠点施設整備事業や小・中学校空調設備設置事業(令和元年度借入分)、令和元年東日本台風災害復旧事業にかかる市債の償還開始により公債費が増加することが見込まれることから、財政健全化を図るための一層の計画的かつ効率的な財政運営に努める。

※1 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
(参考)

※2 減債基金積立状況等		年度	H28末	H29末	H30末	R01末	R02末
減債基金残高(注)							
減債基金積立相当額							

分析欄

満期一括償還方式を採用している借入はない。

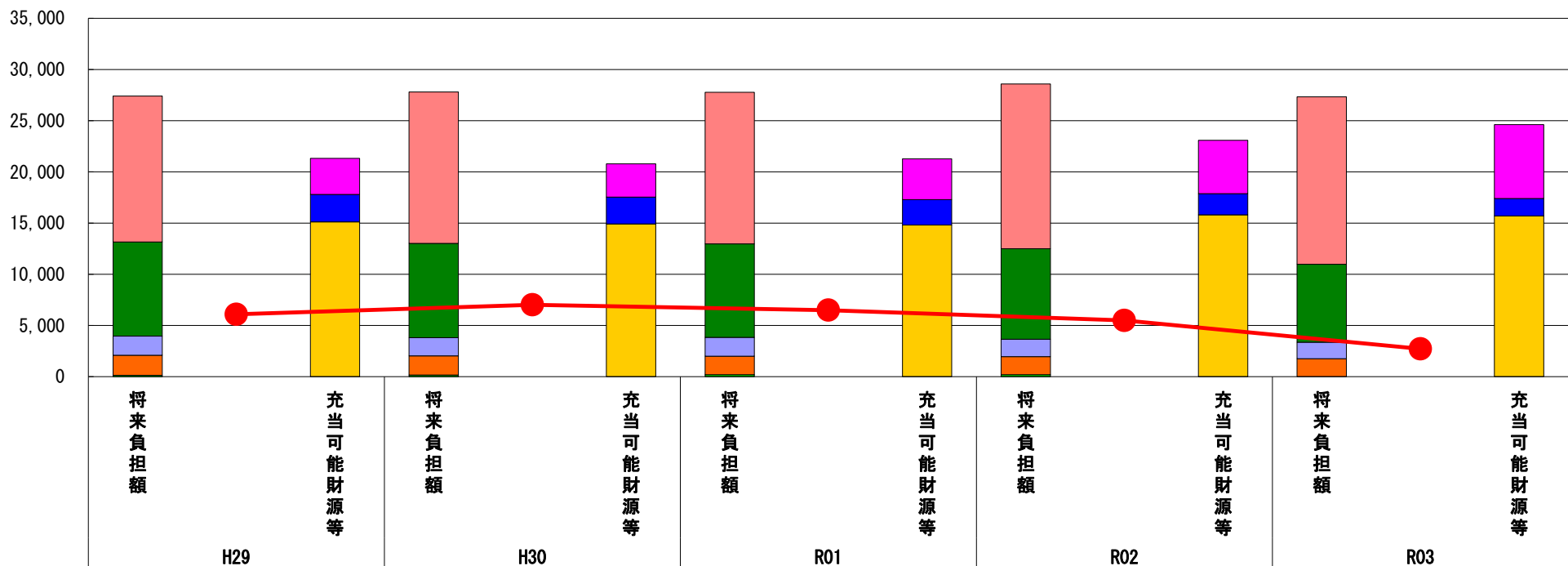
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

宮城県角田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		14,249	14,779	14,804	16,090	16,359
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		9,189	9,216	9,130	8,830	7,619
	組合等負担等見込額		1,878	1,770	1,835	1,705	1,602
	退職手当負担見込額		1,960	1,879	1,817	1,761	1,756
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		126	153	187	194	-
	充当可能基金		3,524	3,240	3,985	5,220	7,213
	充当可能特定歳入		2,679	2,616	2,481	2,060	1,708
	基準財政需要額算入見込額		15,112	14,924	14,815	15,810	15,696
(A) - (B)	将来負担比率の分子		6,087	7,017	6,493	5,490	2,719

分析欄

将来負担額(A)においては、令和元年東日本台風及び令和3年福島県沖地震にかかる公共土木施設・農業用施設等の災害復旧債や公共施設等の長寿命化・転用改修事業充当債等の借り入れにより一般会計に係る地方債の現在高が269百万円増加している。一方で、下水道事業会計の将来負担額1,227百万円の減を主要因として、公営企業債等繰入見込額が1,211百万円の減となったことなどから、将来負担額(A)は1,244百万円の減となっている。

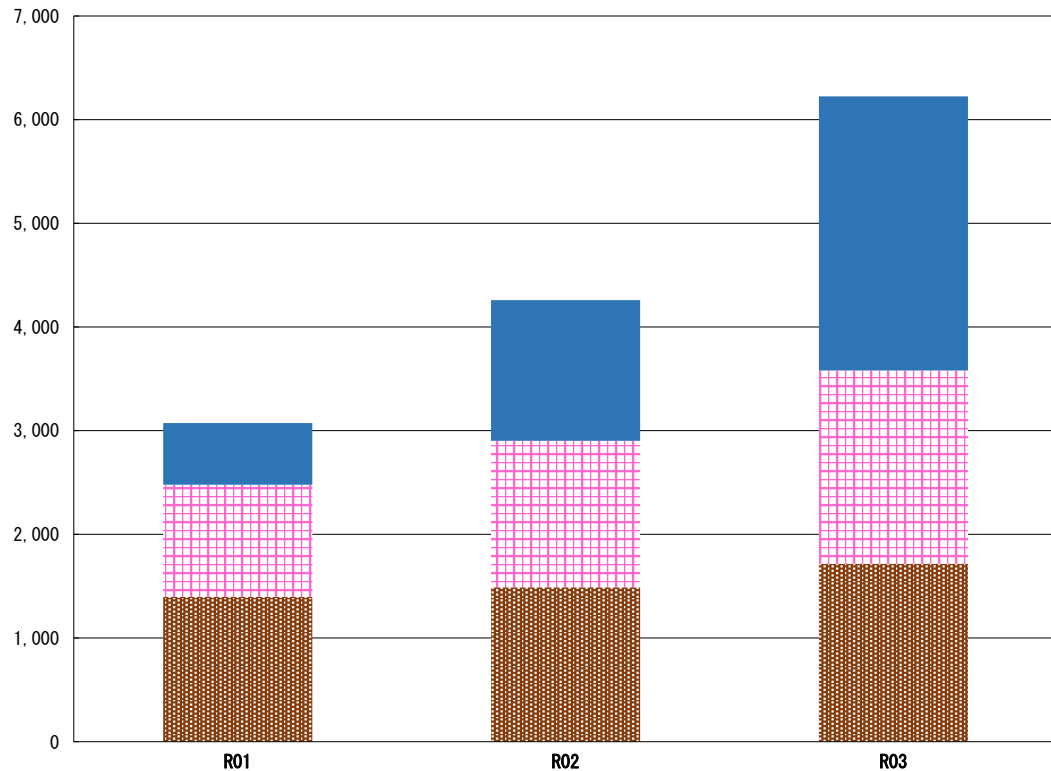
充当可能財源等(B)においては、減債基金や公共施設強靱化対策基金への積み増しなどによって充当可能基金は1,993百万円増となるなど、全体で1,527百万円の増となったことから、将来負担比率の分子((A)-(B))は前年度と比較し、2,771百万円減少している。

令和4年度以降においても、公共施設の長寿命化・脱炭素化にかかる改修や防災・減災構想にかかる工事の実施等により多額の市債発行を予定しており、さらに現在高が増加することが見込まれることから、令和3年3月策定の「角田市第5次行財政集中改革プラン」(令和3年度～令和8年度)に基づく行財政改革を推進し、一層の将来負担の低減化を図る。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		1,396	1,489	1,718
減債基金		1,082	1,413	1,863
その他特定目的基金		595	1,358	2,644
公共施設強靱化対策基金		200	800	1,600
子ども子育て未来基金		-	-	300
都市整備基金		150	250	277
農業振興基金		23	72	176
スポーツ振興基金		40	37	84
基金残高合計		3,073	4,261	6,225

令和3年度

宮城県角田市

基金全体

(増減理由)

積立を実施した主なものとして、財政調整基金については令和2年度の決算剰余金2億2,833万円を、減債基金については5億円を、公共施設強靱化対策基金については8億円を、さらに子ども子育て未来基金を創設し3億円を積み立てた。一方で、財政調整基金については取り崩しを行わなかったが、減債基金については市民センター整備事業に係る元金償還に対応するため5,000万円を、都市整備基金は道路改良事業及び公園等整備事業のため7,320万円を、角田市育英会奨学金基金については奨学金を貸し付けるため950万円を取り崩したことなどにより、基金全体としては19億6,450万円の増となった。

(今後の方針)

事前防災及び減災等に資する公共施設の整備及び大規模な改修に関する事業の計画的な推進を図るための公共施設強靱化対策基金やその他の特定目的基金の積み増しを予定しており、基金全体としては増加が見込まれる。

財政調整基金

(増減理由)

令和2年度の決算剰余金2億2,833万円を積み立てたことにより増加した。

(今後の方針)

令和3年3月策定の「角田市第5次行財政集中改革プラン」(令和3年度～令和8年度)における取組項目の中で、財政調整基金の残高に関しては、標準財政規模の10%以上を確保するために十分な額として各年度末において12億円以上の保有を目標としている。

減債基金

(増減理由)

市民センター整備事業にかかる元金償還に対応するため5,000万円を取り崩した一方で、令和元年東日本台風に対する災害復旧事業債の償還に備えた額と普通交付税の追加交付により算定された臨時財政対策債償還基金費相当額等の5億円を積み立てたことにより増加した。

(今後の方針)

平成30年度より市民センター整備事業に係る元金償還に対応するために毎年度5,000万円を取り崩しており、令和4年度からは令和元年東日本台風に対する災害復旧事業債の償還に対応するためさらに5,000千円を追加し、毎年度1億円を取り崩すこととしている。

その他特定目的基金

(基金の用途)

公共施設強靱化対策基金：事前防災及び減災等に資する公共施設の整備及び大規模な改修に関する事業の計画的な推進
 子ども子育て未来基金：未来を担う子どもたちが健やかに生まれ、育つことのできる環境を整え、子育てにやさしいまちづくりの推進
 都市整備基金：都市計画事業その他都市基盤整備のための事業の推進
 農業振興基金：農畜産物の生産振興、農業経営の安定及び農業人材の育成を図り、農業の持続的な発展
 スポーツ振興基金：角田市における体育及びスポーツの振興を図り、もって市民の体位向上とスポーツ精神の高揚及び体育指導者の育成

(増減理由)

公共施設強靱化対策基金：基金の目的を達成するため、8億円を積み立てた。
 子ども子育て未来基金：基金を創設し、3億円を積み立てた。
 都市整備基金：基金の目的を達成するため、1億円を積み立てた。
 農業振興基金：基金の目的を達成するため、1億円を積み立てた。

(今後の方針)

公共施設強靱化対策基金：公共施設の老朽化対策及び防災・減災構想にかかる事業に充当するため、取り崩しを予定する。
 子ども子育て未来基金：子ども医療費助成事業等に充当するため、取り崩しを予定する。
 都市整備基金：道路改良事業等に充当するため、取り崩しを予定する。